

1 地域福祉保健計画とは

平成12年に「社会福祉法」が改正され、第107条に地域福祉の推進に関する事項を定める計画として市町村地域福祉計画が位置づけられました。

横浜市では、誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりをめざし、住民、事業者、公的機関（行政・社会福祉協議会・地域ケアプラザ等）が福祉保健などの地域の課題解決に協働して取り組み、身近な地域の支えあいの仕組みづくりを進めることを目的として、第1期（平成16年度～20年度）、第2期（平成21年度～25年度）として計画を推進してきました。

第2期からは、誰にとっても関心を持ちやすい健康に関する取組を地域福祉の取組と一体的に推進することが、幅広い市民参加につながるなどから、名称を「横浜市地域福祉保健計画」とし、地域福祉に保健を取り入れて一体的に取り組んでいます。

現在は、第3期（平成26年度～30年度）として、横浜市社会福祉協議会が策定・推進してきた計画である「横浜市地域福祉活動計画」と一体的に推進しています。

2 市計画と区計画のあらまし

横浜市地域福祉保健計画には、横浜市全体の基本理念と方向性を提示する「市計画」と18区の特性に応じた「区計画」があります。

	市計画	区計画	
		区(全体)計画	地区別計画
位置づけ	基本理念と方向性を提示し、区計画推進を支援する計画	<ul style="list-style-type: none"> ●区(全体)計画 <ul style="list-style-type: none"> ●区(全体)計画 ●区域全体の共通課題、地域の支えあいのみでは解決できない課題に対する区・区社協・地域ケアプラザの取組 	地区の課題に対応するため、地区が主体となり、区・区社協・地域ケアプラザと協働して策定する計画



なぜ地域福祉保健計画が必要なのでしょう？

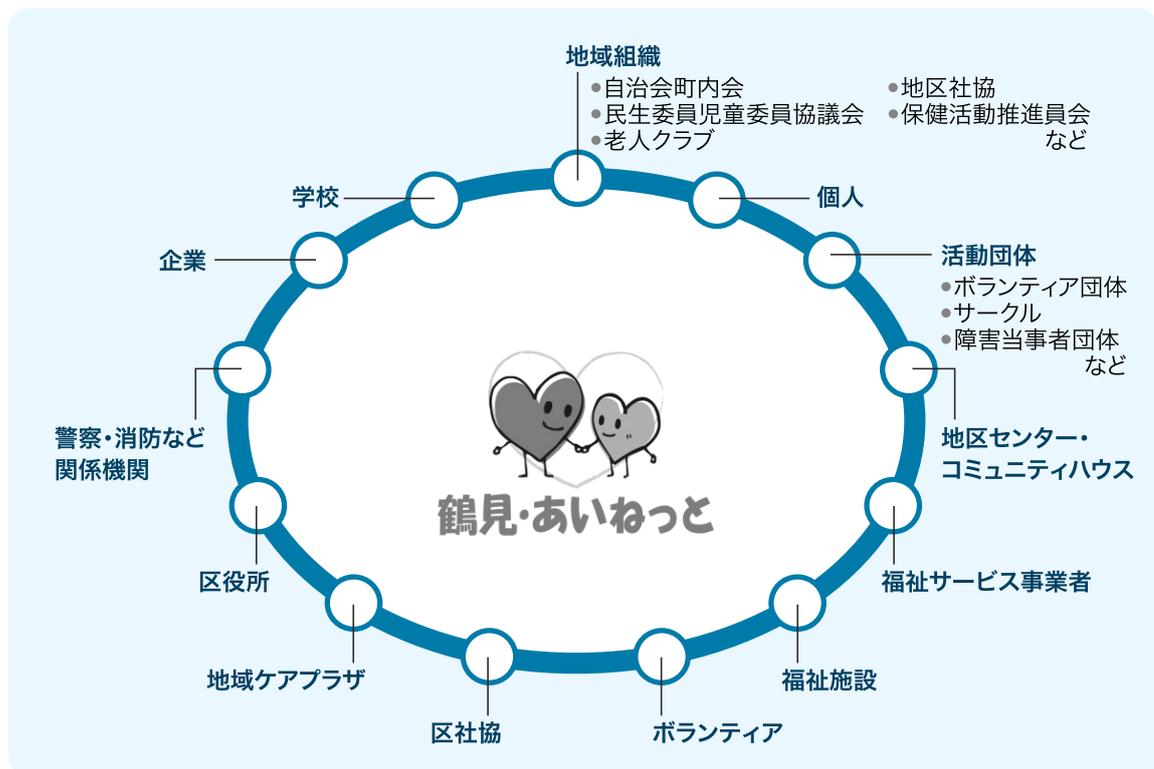
少子・高齢化の進行、核家族・単身世帯の増加、隣近所の関係の希薄化により、子育て家庭や高齢世帯の孤立、ひきこもりなど、生活をしていく上での課題が複雑多様化しています。

生活の中で支援が必要であっても、公的サービスだけでは解決できないことがあります。住民や関係団体、事業者、公的機関などが同じ目的に向かって連携し、地域の中でつながり、見守り、支えあう仕組みづくりに取り組んでいくための計画づくりが必要とされています。

3 「鶴見・あいねっと（鶴見区地域福祉保健計画）」とは

鶴見区では、地域福祉保健計画に「あいねっと」という愛称をつけましたが、これは「たすけあい・支えあい・人と人のネットワーク」の意味が込められたもので、公募で名づけられました。鶴見区では、子どもも大人も、障害者も誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくりのための活動を「鶴見・あいねっと」と呼び、区民の皆さん、関係団体・機関、事業者とともに平成17年度から進めています。

「鶴見・あいねっと」には、鶴見区全体の計画と、連合町内会単位ごとに、地区の特徴を踏まえて取り組む活動をまとめた「地区別計画」があります。



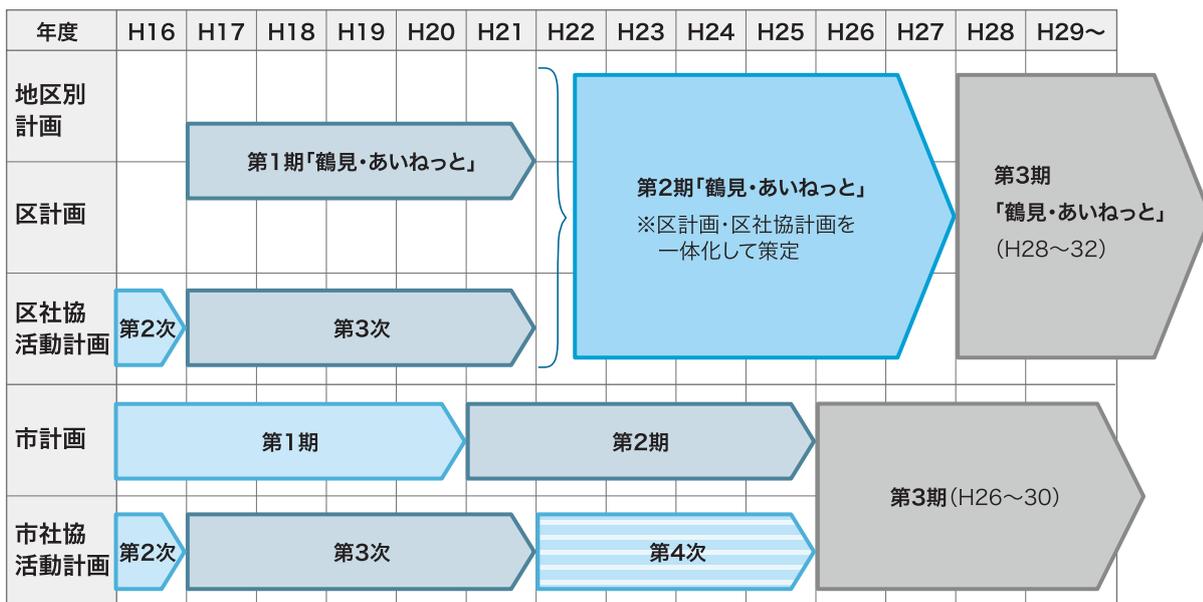
(1) 第1期計画の経過【平成17年度～21年度】

第1期計画は、「地域社会のつながりを作ります」「必要な人には確実に支援が届く仕組みを作ります」「互いに支えあう相互扶助の地域社会を作ります」を基本理念に、18区中で先行して策定する区の一つとして、平成17年3月に策定されました。第1期計画では、地区の特徴に合わせた連合町内会を単位とした18地区ごとの地区別計画が策定され、補助金を活用した新たな福祉保健活動の開始、推進フォーラムの実施、地区別支援チームの立ち上げなどが行われました。

(2) 第2期計画の経過【平成22年度～27年度】

第2期計画は、「健康で住みやすい福祉のまちに！」を基本理念に、この目標を達成するための3つの柱「つながりのある地域づくり」「必要な人に支援が届く仕組みづくり」「互いに支えあう地域社会づくり」を平成22年度から平成27年度まで進めてきました。詳しくは、「第2期計画の振り返り」のページをご覧ください。

<各計画の計画期間>



4 地域福祉保健計画と地域福祉活動計画との関係

地域福祉保健計画が社会福祉法にもとづき、福祉サービスの利用促進や福祉事業の拡充、住民参加等を目的として市町村が策定する行政計画であるのに対し、地域福祉活動計画は、住民や施設・団体等が地域福祉活動を進めるために社会福祉協議会と協働して策定する民間の活動・行動計画です。

両方の計画は、それぞれの立場で課題の解決を目指して進めますが、課題は共通しており、互いの働きや役割の分担を意識しながら推進することがより効果的であるため、一体的に策定し取り組みます。

鶴見区では、第2期計画(平成22年度~27年度)より、区と区社協が策定プロセスを共有し、一体的な計画として策定しています。